学校番号	323

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「政治・経済」（東京書籍）						
副教材等	（使用しない）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代日本と国際政治・経済に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論について学習するとともに、自分の探究課題（問い）を決め、情報を収集し、読み取り、整理した上で自分の主張を決め、レポートやディベートを行うなどの学習活動を行うため、主体的・対話的に深い学びになるように学習してもらいたい。

2　学習の到達目標

・知識・技能
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
・思考・判断・表現
国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や、政治・経済に関する概念や理論などを活用し、現実社会の複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
・主体的に学習に取り組む態度
よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、日本および国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	合意形成や社会参画に向け、国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会の複雑な課題について考察し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想したり、社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり、表現したりしている。	よりよい社会の実現のために、国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとし、知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編　現代日本の政治と経済　第1章　現代日本の政治	1節　民主政治の基本原理 2節　日本国憲法の基本原理 3節　日本の政治機構 4節　現代政治の特質と課題	a：現代日本の政治に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b：現代日本の政治に関わる複雑な課題について考察し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想したり、社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり、表現したりしている。 c：現代日本の政治を主体的に解決しようとし、知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 提出課題	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 授業態度 発問評価

2学期	第2章　現代日本の経済	1節　現代の資本主義経済 2節　現代経済のしくみ 3節　日本経済の発展と現状 4節　福祉社会と日本経済の課題	a：現代日本の経済に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b：現代日本の経済に関わる複雑な課題について考察し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想したり、社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり、表現したりしている。 c：現代日本の経済を主体的に解決しようとし、知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 提出課題	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 授業態度 発問評価

	第2編　グローバル化する国際社会　第1章　現代の国際政治	1節　国際政治のしくみ 2節　複雑化する国際政治と日本	a:グローバル化する国際社会に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b:グローバル化する国際社会に関わる複雑な課題について考察し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想したり、社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標に議論し公正に判断したり、表現したりしている。 c:グローバル化する国際社会を主体的に解決しようとし、知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 提出課題	定期考査 提出課題 発問評価	提出課題 授業態度 発問評価

3学期	第2章　現代の国際経済	1節　国民経済と国際経済 2節　世界経済の現状と課題	a：現代の国際経済に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b：現代の国際経済に関わる複雑な課題について考察し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想したり、社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり、表現したりしている。 c：現代の国際経済を主体的に解決しようとし、知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。	提出課題	提出課題 発問評価	提出課題 授業態度 発問評価

	第3章　現代日本と国際社会の諸課題	【現代日本の諸課題】 1　少子高齢社会における社会保障 2　地域社会の活性化 3　多様な働き方･生き方の実現 4　中小企業の意義と課題 5　日本の財政の健全化 【国際社会の諸課題】 1　グローバル化する世界経済 2　地球環境問題 3　資源･エネルギー問題	a:　現代日本と国際社会の諸課題に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b:現代日本と国際社会の諸課題に関わる複雑な課題について考察し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に構想したり、社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり、表現したりしている。 c:現代日本と国際社会の諸課題を主体的に解決しようとし、知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。	提出課題	提出課題 発問評価	提出課題 授業態度 発問評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度